

香川県感染症週報

2022年20号(27/May/2022 発行)

Infectious Disease Weekly Report Kagawa

Reported by Infectious Disease Information Center Kagawa

◆ 2022年 第20週(5/16~5/22)の感染症発生動向(届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 1類感染症 なし
- 2類感染症 結核(高松1件、西讃1件)
- 3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症(高松2件、西讃1件)
- 4類感染症 E型肝炎(東讃1件)、日本紅斑熱(東讃1件)
- 5類感染症 急性脳炎(高松1件)、
侵襲性肺炎球菌感染症(中讃1件)
梅毒(高松4件、東讃1件)

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症
(高松1,050件、小豆16件、東讃200件、
中讃648件、西讃343件)

修正 第19週 4類感染症1→2(日本紅斑熱 東讃0→1)

■定点把握感染症の発生状況 ☆ 比較は定点あたりの人数による

- 感染性胃腸炎(ウイルス)の報告が続いています。調理や食事の前、トイレの後には、こまめに手洗いをしましょう。食品は十分に加熱し、調理器具は清潔に保ちましょう。

香川県新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止対策期

- ◎手洗い・手指消毒、咳エチケット、こまめな換気等の感染症対策を徹底しましょう。
- ◎「大人数・長時間の飲食」、「マスクなしでの会話」等、感染リスクの高い行動は避けましょう。飲食店等は、感染対策の徹底されている店を少人数で利用しましょう。
- ◎混雑する場所への外出は控えましょう。



2022年第20週の感染症発生動向調査による報告患者総数は217人で、前週(157人)の138.2%となった。

- 1. 感染性胃腸炎(ウイルス)の報告は、県全体(4.2→6.1)で増加している。
- 2. 突発性発しんの報告は、県全体(0.5→0.5)で横ばいで推移している。
- 3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告は、県全体(0.2→0.4)で増加している。
- 4. 感染性胃腸炎(細菌)の報告は、県全体(0.3→0.3)で横ばいで推移している。
- 5. 咽頭結膜熱の報告は、県全体(0.2→0.2)で横ばいで推移している。

今週の上位疾患(小児科定点からの法定届出疾病)

疾患名	今週	前週	前週比	過去5週の平均	過去10年の平均	全県	高松市	小豆	東讃	中讃	西讃
① 感染性胃腸炎(ウイルス)	6.1人	4.2人	146.2%	3.6人	9.0人	○↗	○↗	○↑	○↘	○↗	○↗
② 突発性発しん	0.5人	0.5人	100.0%	0.4人	0.6人	△→	△→	・	・↘	△↘	○↗
③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.4人	0.2人	200.0%	0.2人	1.9人	△↗	△↘	・	・	・↘	○↑
④ 感染性胃腸炎(細菌)	0.3人	0.3人	100.0%	0.2人	0.4人	△→	△→	・	△↗	△→	△↘
⑤ 咽頭結膜熱	0.2人	0.2人	83.3%	0.1人	0.5人	△↘	△↗	・	・	・↘	△↘

記号の説明 今週の流行状況: ◎流行(警報レベルに達している) ○やや流行 △散発 ・患者発生報告無し

前週との比較: ↑急増 ↗増加 ↘減少 ↓急減 →横ばい ・報告無し

◆病原微生物検出情報

細菌	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	備考
なし						

ウイルス	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	備考
なし						

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症 耐性遺伝子検出情報

菌種名	検体	検体採取日	地区	臨床診断(症状)	耐性遺伝子	備考
なし						

